



学校だより
**桜っ子
通信**

校訓
自ら学び
自ら考え
自ら行う

令和6年3月15日 第110号
長崎市立桜町小学校長 野中 正樹

笑顔と涙の6年生を送る会

3月8日（金）に6年生を送る会（送別集会）を体育館で開催しました。1年生から5年生までの子どもたちが、趣向を凝らした出し物を披露してくれました。

トップバッターの1年生は、これまでお世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えた後に、本踊り「ばんざい6年生」を元気に歌って、踊ってくれました。「あーあー みなさんに出会えてよかった みなさんと遊べて本当によかった ばんざい ばんざい ばんざい 6年ばんざい ばんざい ばんざい ばんざい 卒業おめでとう 6年大好き あいごとう！」6年生もかわいい1年生を見て、自分たちが1年生のときの桜っ子くちでの本踊りを思い出して、笑顔で見っていました。

2年生は、朝のボランティアなど、6年生のリーダーとしての活躍への感謝の言葉に続いて、鍵盤ハーモニカ隊によるAdoの「唱」に合わせて、キレキレのダンスを披露してくれました。最後のダンスには、4名の6年担任と、6年生の〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんも飛び入り参加し、ノリノリで踊っていました。特に北村先生は、これまで見たことがない満面の笑顔で楽しそうに踊っていました。会場は大盛り上がりでした。

3年生は、1年生ペアとの交流や登校班、縦割り活動等での6年生の活躍をユーモラスな寸劇で再現してくれました。6年生の子どもたちの頑張りや優しさが伝わる楽しい劇でした。3年生の子どもたちの表現力にも感心しました。また、劇の幕間では、ミッキーマウスマーチの替え歌で「桜町小のリーダーは 優しくて かわいい 6年生」と元気に歌っていました。見ている6年生も笑顔で、リーダーとして頑張った1年間を振り返っていました。

4年生はバナナマンが出演しているバラエティ番組のパロディで、福山雅治さんと仲里依紗さんが長崎市に戻ってきたという設定で、「せっかく桜町小学校に来たんなら、6年生ば見ていかんね！」と書いたフリップを示して、6年生が委員会活動で熱心に仕事に取り組んでいる様子や、クラブ活動でのさりげない優しさを紹介してくれました。そして、最後に「**私たちも こんなにすばらしい6年生に なりたいと思います。**」と締めくくってくれました。

在校生の最後を飾って登場した5年生は、お笑い番組の「IPPON グランプリ」からヒントを得た、「6PPON グランプリ」とあのちゃんの「ちゅ、多様性。」のダンスを披露してくれました。「6PPON グランプリ」での6年担任の写真を見て一言では、なんとも言えないシュールな回答に会場も大笑いでした。何度もダメ出しが掛かった「ちゅ、多様性。」のダンスも大盛り上がりでした。何より、5年生が楽しんでいる様子が伝わってきて、6年生も笑顔でした。

続いて在校生に対して6年生がお礼の言葉が述べた後に、卒業式で歌う「旅立ちの日に」を披露してくれました。6年生の真剣な表情で心を込めて歌う姿に在校生も息をのんで聴き入っていました。その歌声はとても美しく、とても感動しました。在校生の中には、涙ぐんでいる子どももいました。2年生の中には号泣する子どもも数名いました。6年生とのお別れが悲しくて、涙が出るほどの感受性を持ち合わせていて、すばらしいと思いました。

最後に、6年生から5年生へ、伝統の「校旗」・集団登校で使う「たすき」・朝のボランティア清掃で使う「ほうき」の引き継ぎがありました。5年生にとっても、4月からは、最高学年として桜町小学校のリーダーとして頑張っていかなければならないという決意を新たにする送る会となりました。

まもなく、本校を卒業していく6年生にとっても、そして、6年生とお別れをする1年生から5年生にとっても、心に残る6年生を送る会となりました。

